

令和6(2024)年6月

花うえボランティア 活動をはじめ

—— 地域とともにある学校をめざして 地域学校協働本部 より ——

5月17日のことです。

学校から、「5月24日13時から花うえをします。ボランティアの方をよろしくお願ひします」という連絡が、コーディネーターに入りました。

あと1週間しかありません。

わたしは、他のコーディネーターと連絡を取り合います。

ボランティアの方に「花うえ」があることを連絡をするのです。

そして、当日を迎えました。

13時近くになると、生徒たちが集合する姿がありました。ボランティアの方の姿があります。花の苗がずらっと並んでいます。

今年も1回目の「花うえ」が始まるんだなと思うとうれしくなりました。

皆さん、ここで考えてみてください。

体力のある中学生ですから、「花うえ」は簡単にできます。わざわざボランティアの協力がなくてもできます。なのにボランティアの参加が必要なのか。

一度立ち止まって考えてほしいのです。

現在、天理市内の学校は「コミュニティスクール」となっています。コミュニティスクールは「学校運営協議会」が運営しています。メンバーは、地域の方と学校の代表です。そこで、学校の目標が決定されます。

そして、実際の活動をするのが、コーディネーターであり、ボランティアの方なのです。

つぎのページに活動の様子をのせています。

生徒の様子をごらん下さい。

ひと言で言えば、「楽しんでます」。行動は生き生きしています。ボランティアの方も同じです。

学校とボランティアの方が、楽しく生き生きと活動できるお手伝いをしたいと思っています。

2回目の花うえは2学期にあります。

(文責 コーディネーター東口明史)

